

平成28年度 6月補正予算の概要

(6月22日提出 一般会計第3号)

平成28年6月

伊 万 里 市

目 次

1. 予算規模(一般会計)	1
2. 基本方針	1
3. 一般会計6月補正後予算額の対前年度比較表	2
4. 事業概要	4
一般会計	
総務費	4
土木費	5

平成28年度6月補正(追加分)の概要

1 予算規模(一般会計)

平成28年度 現計予算額 (予定)	平成28年度 6月補正額 (3号補正分)	平成28年度 6月補正後の額	平成27年度 6月補正後の額	平成27年度同期比	
				増減額	増減率
千円	千円	千円	千円	千円	%
25,077,234	25,389	25,102,623	23,532,406	1,570,217	6.7

2 基本方針

今回の補正予算は、地方創生推進交付金の対象事業として国に申請を行った移住・定住促進事業をはじめ、移住・定住体験事業、食を活かしたまちづくり推進事業、伊万里港ポートセールス推進事業、都市計画総務事業の5事業に要する経費を計上した。

3 一般会計6月補正後予算額の対前年度比較表(一般会計)

(歳入)

(単位:千円、%)

款	年度	平成28年度 6月補正額	平成28年度6月補正後 (A)		平成27年度6月補正後 (B)		比 較	
		(3号補正分)	予算額	構成比	予算額	構成比	(A) - (B) 増減額	(B) 増減率
1 市	税	0	6,511,430	25.9	6,259,660	26.6	251,770	4.0
2 地 方 譲 与 税		0	269,660	1.1	276,196	1.2	△ 6,536	△ 2.4
3 利 子 割 交 付 金		0	8,634	0.0	8,170	0.0	464	5.7
4 配 当 割 交 付 金		0	13,640	0.1	13,640	0.1	0	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		0	9,650	0.0	1,800	0.0	7,850	436.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金		0	897,146	3.6	897,146	3.8	0	0.0
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金		0	27,000	0.1	27,800	0.1	△ 800	△ 2.9
8 地 方 特 例 交 付 金		0	19,500	0.1	19,500	0.1	0	0.0
9 地 方 交 付 税		0	5,511,720	22.0	4,942,369	21.0	569,351	11.5
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		0	11,481	0.0	12,563	0.1	△ 1,082	△ 8.6
11 分 担 金 及 び 負 担 金		0	485,050	1.9	477,312	2.0	7,738	1.6
12 使 用 料 及 び 手 数 料		0	313,194	1.2	333,570	1.4	△ 20,376	△ 6.1
13 国 庫 支 出 金		12,694	3,854,658	15.4	3,698,422	15.7	156,236	4.2
14 県 支 出 金		0	2,432,498	9.7	2,035,244	8.6	397,254	19.5
15 財 産 収 入		0	13,482	0.0	12,384	0.0	1,098	8.9
16 寄 附 金		0	628,846	2.5	466,264	2.0	162,582	34.9
17 繰 入 金		12,695	1,369,798	5.5	959,310	4.1	410,488	42.8
18 繰 越 金		0	1	0.0	1	0.0	0	0.0
19 諸 収 入		0	624,993	2.5	510,416	2.2	114,577	22.4
20 市 債		0	2,100,242	8.4	2,580,639	11.0	△ 480,397	△ 18.6
歳 入 合 計		25,389	25,102,623	100.0	23,532,406	100.0	1,570,217	6.7

(歳出)

(単位:千円、%)

款	年度	平成28年度 6月補正額	平成28年度6月補正後 (A)		平成27年度6月補正後 (B)		比 較 (A) - (B)	
		(3号補正分)	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議 会 費		0	270,729	1.1	302,108	1.3	△ 31,379	△ 10.4
2 総 務 費		20,389	3,840,425	15.3	3,536,875	15.0	303,550	8.6
3 民 生 費		0	9,985,910	39.7	9,297,294	39.5	688,616	7.4
4 衛 生 費		0	1,752,919	7.0	1,706,806	7.3	46,113	2.7
5 労 働 費		0	71,434	0.3	70,920	0.3	514	0.7
6 農 林 水 産 業 費		0	1,130,649	4.5	880,514	3.8	250,135	28.4
7 商 工 費		0	500,035	2.0	502,725	2.1	△ 2,690	△ 0.5
8 土 木 費		5,000	1,764,569	7.0	1,750,452	7.4	14,117	0.8
9 消 防 費		0	1,681,261	6.7	881,929	3.8	799,332	90.6
10 教 育 費		0	1,697,524	6.8	2,145,655	9.1	△ 448,131	△ 20.9
11 災 害 復 旧 費		0	18,500	0.1	31,019	0.1	△ 12,519	△ 40.4
12 公 債 費		0	2,259,497	9.0	2,229,409	9.5	30,088	1.3
13 諸 支 出 金		0	99,171	0.4	166,700	0.7	△ 67,529	△ 40.5
14 予 備 費		0	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
歳 出 合 計		25,389	25,102,623	100.0	23,532,406	100.0	1,570,217	6.7

5 つの まちづくり	事業名	事業費	財源内訳		説明
			特定財源	一般財源	
総務費					
施策体系外	移住・定住促進事業 (●移住・定住プロモーション映像制作業務委託料等)	千円 6,599	千円 (国) 3,299	千円 3,300	本市への移住・定住を促進するため、プロモーション映像やガイドブックを製作し、全国的な移住情報のウェブサイト「全国移住ナビ」への掲載や移住相談会等のイベント等で活用する。 ○プロモーション映像制作業務委託料 6,000千円 ・伊万里市CM映像(1分) ・移住・定住促進映像ダイジェスト版(3分) ・移住・定住促進映像本編(10分) ○その他事務費 ・印刷製本費 285千円 ・通信運搬費 75千円 ・備品購入費 239千円
施策体系外	●移住・定住体験事業	7,000	(国) 3,500	3,500	本市の風土や日常生活を実感できるように、市が貸家を借り上げ、移住希望者に無償で提供する。 ・借用物件 伊万里駅周辺の2DK以上 ・利用対象者 市内で住居や仕事を探す活動や移住活動の一環として市の自然、風土等を知るための活動等を行う者 ・利用日数 2泊以上30泊まで ・住宅借上等に要する経費 4,507千円 ・公用車購入等その他事務費 2,493千円
活気あふれる産業づくり	食を活かしたまちづくり推進事業 (●プレミアムディナー開催事業委託料、●GYUGYUバル開催事業費補助金)	5,290	(国) 2,645	2,645	伊万里の食の魅力を広く発信するイベントとして伊万里出身の若手料理人吉武広樹氏を招聘し、一夜限りの「プレミアムディナー」を開催する。また、市内若手料理人の連携した食の取り組み「バル」の開催を支援し、地域活性化を図る。 ○プレミアムディナー開催事業 ・開催時期 11月～12月頃 ・場 所 市内ホテル等 ・内 容 コース料理を2万円で提供し、伊万里の食と器の魅力を発信する。 ・委託料 3,690千円 ○伊万里GYUGYUバル開催支援事業 ・開催時期 9月、3月の計2回 ・実施主体 伊万里GYUGYUバル実行委員会 ・支援内容 ポスター作製費、イベント用消耗品等 ・補助金 1,600千円

5 つのまちづくり	事業名	事業費	財源内訳		説明
			特定財源	一般財源	
活気あふれる産業づくり	伊万里港ポートセールス推進事業 (●企業情報調査業務委託料)	千円 1,500	千円 (国) 750	千円 750	伊万里港の取扱貨物量の増加に向け、伊万里港を利用する可能性がある企業の情報調査を行う。 ・調査対象 コンテナでの貿易を行っている企業及び九州内に工場を保有しコンテナでの貿易を行っている企業のうち、各種製造業及び卸売業 ・対象地域 九州全域 ・主な調査項目 企業名、コンテナ取扱量、コンテナ取扱品目、現在の利用港 ・委託料 1,500千円
土木費					
安全で快適な地域づくり	都市計画総務事業 (●都市形成戦略策定業務委託料)	千円 5,000	千円 (国) 2,500	千円 2,500	西九州自動車道の伊万里中 I C (仮称) の開通により予想される市街地への流入人口の増加を好機ととらえ、「活気あふれるまち」、「行きたいまち」の実現のため、中長期視点にたった都市形成戦略を策定する。 ○重点検討項目 ・伊万里中 I C (仮称) の開通による整備効果の確認 ・伊万里中 I C (仮称) 開通後の市街地の将来都市像の見直し ・松島裾から観光、歴史エリアやレクリエーションエリア等への誘導 ・中心市街地の空洞化や人口減少の抑制に向けた空き家、空き店舗の活用